

2026年4月30日

都道府県言語聴覚士会 会長 殿
事務局 御中

一般社団法人 日本言語聴覚士協会
会長 内山 量史
学術研究部 深浦 順一
小児聴覚障害小委員会 廣田 栄子

小児聴覚障害児を担当する言語聴覚士の臨床実践の調査(お願い)

平素より、日本言語聴覚士協会の活動にご協力を頂きありがとうございます。

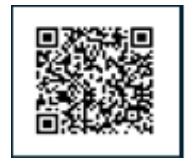
この度、当協会では、わが国の小児聴覚障害における言語聴覚士の臨床・実践を把握し、今後の指導指針を得る目的でアンケート調査を行うこととなりました。

現在、出生児の96.2%(2025年)が新生児聴覚検査を受検していますが、その後の療育は半数に止まり(53.8%、日耳鼻2020)、子ども達の豊かな成長には早期からの適切な支援が重要になっています。そして早期診断では、軽中等度難聴や重度難聴・片側難聴児・重複する障害など状況が多様化し、聴覚評価と補聴(補聴器・人工内耳)、コミュニケーション指導、家族の支援などのあり方についての検討が求められています。したがって、これまで各地域で進められてきた聴覚障害児の臨床実践を継承し、さらにご家族の通える距離で言語聴覚士等による専門的な支援の拡充が喫緊の課題とされています。そこで、お忙しい中、大変申し訳ございませんが、都道府県言語聴覚士会の会員の先生方にご理解と本調査へのご協力について周知していただきたくお願いいたします。なお、調査回答の結果はデータ処理を行った上で公開しますが、回答者のメールアドレスはサーバーに保存されませんので、個人や施設が特定されることはありません。調査結果は、まとめ次第、日本言語聴覚士協会誌 STANDUP 及び、学術誌を通してご報告しご参照いただけます。全ての聴覚障害児の育ちの充実と言語聴覚士による支援の拡充に向けて調査へのご協力を頂きますようお願い申し上げます。

記

<調査概要>

1. 調査対象: 小児聴覚障害の臨床・実践に関わる言語聴覚士
2. 回答期間: 2026年6月末日まで
3. 回答方法: 以下の URL または、右 QR コードリンク調査フォームでご回答下さい。
<https://forms.gle/ragtprUeZqfDU4sYA>
4. 回答時間: 20分程度



ご不明な点は、下記へお問合せください。

以上

学術研究部 小児聴覚障害小委員会 委員一覧

委員長	廣田 栄子	筑波大学 名誉教授
委員	井上 理絵	おぎはら耳鼻咽喉科 言語聴覚士
委員	大原 重洋	聖隷クリストファー大学言語聴覚学科 教授
委員	諏訪 圭子	大阪大学附属病院耳鼻咽喉科 言語聴覚士
委員	成田 あゆみ	国立障害者リハビリテーションセンター学院 教官
委員	野原 信	帝京平成大学言語聴覚学科 准教授
委員	平島 ユイ子	国際医療福祉大学言語聴覚学科 教授 (五十音順)

【問い合わせ】

一般社団法人日本言語聴覚士協会 学術研究部
小児聴覚障害小委員会 委員長 廣田 栄子
Email: survey@japanslht.or.jp